

令和8年4月25日

生徒の皆さんへ
保護者の皆様へ

みなと高等学園
校長 安崎 輝彦

「ラーケーション」のご案内

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、徳島県では、子どもたちの未来につながる「新しい学びの形」実現のため、昨年度から「ラーケーション」を導入しています。その趣旨を受けて本校では、より一人一人に応じた多様な学び・活動等を実現するため、本校が指定した年に3日の「みなとラーケーションデー」、自由に取得できる年に3日までの「ラーケーションの日」として実施しています。

※「ラーケーション」とは、Learning(学び)+Vacation(休暇)の造語です。

■「みなとラーケーションデー」とは

- 本校の指定した年に3日の「全員が登校せずに校外で多様な学び・活動等を行う日」です。
本年度は、全学年とも、6月30日(火)、10月8日(木)、1月28日(木)の3日です。
- 生徒と保護者等と一緒に「多様な学び・活動等」を計画し、教員も助言や支援を行います。
- 「『みなとラーケーションデー』計画書・報告書」に生徒が記入し、保護者等が確認します。

■「ラーケーションの日」とは

- 自由に取得できる年に3日までの「登校せずに校外で多様な学び・活動等を行う日」です。
- 生徒と保護者等と一緒に「取得日・学ぶ場所・学ぶこと(目的・内容)」を計画します。
- 取得日について学校(担任)と相談し、「『ラーケーションの日』届出書」に生徒が記入し、保護者等が確認し、1週間前までに学校(担任)に提出します。

■「みなとラーケーションデー」・「ラーケーションの日」の目的

- 多様な学びや活動を自ら計画して実行する力、休みの過ごし方を主体的に考える力、自分の心身の状態を整える力(自己調整力)、社会的・職業的自立に必要な力、「暮らす・働く・楽しむ」につながる力、心の豊かさ等を養うこと、ウェルビーイングの向上を目的とします。

■多様な学び・活動等の具体的な例

- 施設を見学したり、自然を体験したり、イベントやボランティア活動などに参加したりする。
- 自分の適性について考えたり、保護者等と将来の暮らしや仕事について話し合ったりする。
- 家事労働などに取り組んだり、普段は実行しにくいことや苦手なことに挑戦したりする。
- 授業の予習・復習や発展的な学習に取り組んだり、興味のあることを探究したりする。
- 余暇活動(趣味・運動・創作など)を楽しんだり、心身のリフレッシュを行ったりする。
- 現場実習などの就労体験を行ったり、資格取得のための講習に参加したりする。

■扱いについて

- 「みなとラーケーションデー」・「ラーケーションの日」は欠席にはなりません。